

令和5年12月21日
国土交通省関東地方整備局
企画部

「コンクリート剥落防止技術」の技術選定結果について

～ 現場での新技術活用を迅速化する取り組み ～

国土交通省では、現場ニーズ・行政ニーズに基づいて決定した「コンクリート剥落防止技術」について、新技術活用システムの活用方式「テーマ設定型（技術公募）」として、令和5年8月30日～令和5年9月29日まで新技術を公募し、応募のあった技術について別紙のとおり15技術選定しましたのでお知らせします。

今回選定された技術は、今後、室内試験等で性能確認を行い、その結果を関東地方整備局新技術活用評価会議で審議のうえ、新技術情報提供システム（NETIS）に「テーマ設定型の比較表」として公表する予定です。

1. 選定結果 別紙のとおり
2. 選定結果の公表 公募機関のホームページにより公表
3. 公募機関 一般財団法人先端建設技術センター
4. その他 公募機関のホームページでは、選定結果以外に公募要領、要求性能評価項目等が掲載されています。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 企画部

電話：048-601-3151（代表） FAX：048-600-1389

建設情報・施工高度化技術調整官 国頭 正信（内線：3132）

施工企画課 課長補佐 大根田 英司（内線：3456）

<公募対象のコンクリート剥落防止技術とは>

コンクリート構造物表面への繊維素材の貼付や、樹脂系若しくは繊維系被膜の形成により、劣化したコンクリート片の剥落を防止する技術（剥落したコンクリート片を受止る技術は対象外）

【施工状況イメージ】



橋梁やトンネル、樋門、水門等のコンクリート構造物からのコンクリート片の剥落を防止する「新素材繊維接着工（コンクリート剥落対策技術）」は、新技術情報提供システム(NETIS)に多数の技術が登録されています。このため、新技術活用システムのテーマ設定型(技術公募)に基づき、新技術の活用促進を目的として、平成 29 年 9 月に各技術の特性を明確にした技術比較表を作成・公表したところです。

この度、テーマ名を「コンクリート剥落防止技術」とし、新たなリクワイヤメント等に基づき技術公募を実施し、技術比較表を更新する予定です。

テーマ設定型（技術公募）とは、直轄工事等における現場ニーズ・行政ニーズ等に基づき技術テーマを設定し、民間等から技術の公募を行い、個々の技術の特徴を明確にした資料（技術比較表）を作成し、新技術の活用を促進する取り組みです。

作成した技術比較表は、新技術情報提供システム（NETIS）に掲載されます。

<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS>

<選定結果について>

1. 対象技術 コンクリート剥落防止技術
2. 公募機関 一般財団法人先端建設技術センター
3. 選定結果 実施機関ホームページ (<https://www.actec.or.jp/>) により公表
4. 選定結果に関する問合せ先

一般財団法人先端建設技術センター 研究部 NETIS グループ

電話：03-3942-3992 FAX:03-3942-0424

E-mail：netis-hakuraku@actec.or.jp

選定技術一覧

公募技術名:コンクリート剥落防止技術

令和5年12月21日時点

番号	技術名	応募者(共同開発者) ※五十音順
1	ダイナミックレジン クリアタフレジンクイック工法	アイカ工業株式会社
2	ダイナミックレジン クリアタフレジンクイック1500	アイカ工業株式会社
3	ダイナミックレジン クリアタフレジン工法	アイカ工業株式会社
4	ダイナミックレジン スترونガードP工法	アイカ工業株式会社
5	ライフテックス水性はく落対策工法	アトムクス株式会社
6	コンクリート構造物補修材料EXGリペアシリーズ	エクシオグループ株式会社 (株式会社グローケミカル)
7	NFKパネル工法	FKパネル工法協会
8	コンクリート用有機系はく落防止材 「U-レジストクリアガード」	MUマテックス株式会社
9	超薄膜スケルトンはく落防災コーティング	株式会社エムビーエス (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
10	RTワンガードクリア	シーカ・ジャパン株式会社
11	レジテクトRT-1N(R)	シーカ・ジャパン株式会社
12	ショーボンドハイブリッドシート工法	ショーボンド建設株式会社
13	ニュークリアクロス工法	ショーボンド建設株式会社
14	タフガードQ-R工法	日本ペイント株式会社
15	トンネル小片剥落対策工「FF-TCC工法」	前田工織株式会社